平成26年度　札幌支部高等学校サッカー春季大会　開催要項

１ 主　　旨　日本サッカーの将来を担うユース(18歳以下)のサッカーのサッカー技術の向上と、健全な心身の育成を図ることを目的とし、第２種加盟チームが参加できる大会として本大会を実施する。

２ 名　　称　平成26年度　札幌支部高等学校サッカー春季大会

３ 主　　催　札幌地区サッカー協会
千歳地区サッカー協会
北海道高等学校体育連盟札幌支部

４ 主　　管　札幌地区サッカー協会 第２種委員会
千歳地区サッカー協会 第２種委員会

５ 期　　日　予　選　リ　ー　グ：平成26年４月26日(土)・29日(火)
決勝トーナメント：　〃　５月３日(土)

６ 会　　場　参加各チームグランド
別に提出される「会場希望調査票」により、監督主将会議において抽選によって決定する。

７ 競技規則
① 本年度(公財)日本サッカー協会制定の「サッカー競技規則」による。
② 協会登録選手の中から、各試合ごとに最大20名の選手を登録することができる。
③ 選手交代は、試合開始前に最大９名までの交代要員の氏名を主審に通告しておき、そのうち９名までの交代が認められる。
④ 本大会において退場処分を受けた選手は、自動的に次の１試合の出場停止処分を受ける。その後の処置については、本大会規律委員会が決定する。
⑤ 本大会期間中、警告を２回受けた者は次の１試合に出場できない。
⑥ 外国籍の留学生のエントリーは４名以内とし、そのうち出場できるのは２名以内とする。
⑦ ユニフォームは(公財)日本サッカー協会制定の「ユニフォーム規程」に従うものとし、各登録選手の番号については、選手固有の番号である必要はない。
⑧ 重大な不正行為（資格の不正申告等）が発生した場合は、予選リーグにおいては、ブロック内での順位算出から除外し、決勝トーナメントにおいては、相手チームの勝ちとする。

８ 参加資格
① 北海道高等学校体育連盟に加盟している高等学校の生徒であること。
② 本年度(公財)日本サッカー協会の第２種に登録予定の者であること。
ア．札幌地区協会所属チームは、４月11日(金)までに登録を完了すること。
イ．千歳地区協会所属チームは、３月12日(水)までに登録を完了すること。
ウ．１年生の追加登録については、両地区協会所属チームとも４月18日(金)までとする。
③ 高体連主催大会参加者災害補償制度に加入した者、または加入の意志のある者。
④ 平成７年(1995年)４月２日以降に生まれた者。ただし、出場は同一競技３回までとし、同一学年での出場は１回限りとする。
⑤ 「第67回札幌支部高等学校サッカー選手権大会(５月開催)」に出場予定のチームであること。
⑥ ア．転校後６か月未満(春季大会日起算)の者は参加を認めない（外国人留学生もこれに準ずる）。ただし、一家転住等によりやむを得ない場合は、本大会事務局の許可があればこの限りではない。
イ．転校を伴わなくても、他の連盟から高体連加盟チームへ移籍する場合は、上記アに準ずるものとする。ただし、この規程イの適用は当該年度内に限るものとする。
⑦ 参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の学校長の承認を必要とする。

⑧　参加資格の特例

ア．上記①に定める生徒以外で、②～⑦の大会参加を満たした生徒を、別途に定める規定に従い大会参加を認める。

イ．上記④のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技３回限りとする。

ウ．統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。

エ．部員不足によりチームを編成できない学校については、別に定める申し合わせ事項により、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。

〔大会参加資格の別途定める規定〕

1　北海道高等学校体育連盟加盟校以外の学校に在籍し、全道高校体育大会に参加を認められた生徒であること。

2　以下の条件を具備すること。

(1) 大会参加資格を認める条件

ア　北海道高等学校体育連盟の目的および永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

イ　参加を希望する学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。

ウ　各学校にあっては、支部の予選会から出場が認められる。

エ　各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失していず、運営が適切であること。

(2) 大会参加に際し、守るべき条件

ア　全道高校体育大会参加生徒の指導基準及び全道高校体育大会参加者心得を遵守し、競技種目開催要項及び申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ　大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。

9 引率責任者および監督　引率責任者は当該校の教員で、監督は学校長の定めた教職員とする。ただし、引率責任者と監督が同一者の場合は教員とする。

10 チーム編成等　① 参加申込書に登録できる人数は「部長１名」「監督１名」「コーチ１名」「協会登録選手」「マネージャー２名以内」とする。

② 課程(全日制課程・定時制課程・通信制課程)ごとの生徒によるチームであること。

11 競技方法　【ブロック編成および組み合わせ】

① 予選リーグのブロックおよび決勝トーナメントの組み合わせについては、監督主将会議において抽選により決定する。

② 予選リーグの対戦順等については、各会場ごとに抽選または協議によって決定する。

③ 予選リーグは、参加チームを16ブロックに分け、１ブロックあたり４または３チームの編成とする。

【予選リーグ】

① リーグ戦方式(１回戦総当たり)によって、決勝トーナメント進出チームを決定する。

② 試合時間は70分(ハーフタイムのインターバルは５分)とする。

③ 順位の決定は次の順序で行い、各ブロック第１位のチームが決勝トーナメントに進出する。

(１)総勝ち点[勝ち３点、引き分け１点、負け０点]　(２)得失点差　(３)総得点数
(４)当該チーム同士の対戦成績　(５)抽選

【決勝トーナメント】

① 決勝トーナメント進出の16チームを４ブロックに分け、各ブロックにおいてトーナメント方式によって上位４チームを決定する。

② 試合時間は70分(ハーフタイムのインターバルは５分)とし、勝敗が決しない場合はペナルティマークからのキックにより、次回に進出するチーム(決勝トーナメント２回戦においては上位のチーム）を決定する。

【審判割り当て】

① 予選リーグについては、監督主将会議終了後、各会場ごと「審判割当表」に基づいて決定する。

② 決勝トーナメント１回戦については、予選リーグの各ブロックで敗退したチームから２名、２ブロック計４名が担当する(２試合 計８名)。

③ 決勝トーナメント２回戦については、１回戦の審判員と１回戦で敗退した２チームの審判員による協議の上、担当を決定する(４名)。

【大会使用球】

試合球として、未使用の(公財)日本サッカー協会検定球を持ち寄ること。

12 参加申し込み ① 「参加申込書１通」を４月14日(月)の監督主将会議前の受付時に提出すること。

② 選手追加の手続きについては、所定の「追加登録申込書」に必要事項を記入し、本大会事務局へ提出すること(大会３日前[４月23日(水)]必着)。ＦＡＸ送信による提出は可とするが、その場合、職印押印済みの原本を速やかに郵送すること。

13 参　加　料 大会参加料は、10,000円とする。監督主将会議の際に持参し、受付時に提出すること。

14 表　彰　等 ① 本大会の上位４チームに賞状を授与する。

② 本大会の上位４チームを、本年度「第67回札幌支部高等学校サッカー選手権大会」においてシードする。

15 諸　会　議 ① 専門委員・第２種委員合同会議　平成26年４月14日(月) 13：00～

② 監督主将会議　平成26年４月14日(月) 17：00～ （参加申し込みの受付16：30～）

③ 会　　場　札幌市産業振興センター　産業振興棟２階　セミナールームＡ
（札幌市白石区東札幌５条１丁目１番１号）

16 そ　の　他 ① 「参加申込書」等については、下記の札幌地区サッカー協会のホームページよりダウンロードすることができる(Excelファイル)。
http://www.sfa-net.jp/

② 大会運営は、第２種委員会申し合わせ事項および競技運営上の注意に従って行う。

③ 「高円宮杯Ｕ－18サッカーリーグ2014プリンスリーグ北海道」出場チームは、本大会への参加を免除し、本年度「第67回札幌支部高等学校サッカー選手権大会」においてシードする。

④ 荒天・震災・雷等、不測の事態が発生した場合は、専門委員・第２種委員において協議の上、対処する。中断・中止・延期の可能性を留意すること。

連絡先(春季大会　事務局)
〒063-0002　TEL 011-611-7301　FAX 011-641-3795
札幌市西区山の手２条８丁目５番12号
札幌山の手高等学校
岡 田 裕 樹　気付